

国立国会図書館関西館 第18回小展示

入場無料

古今東西

いきもの絵巻

いる
いない
もういない



8月20日(木)~9月15日(火)

※休館日(日曜・祝日)を除く

展示会場：国立国会図書館関西館 地下1階総合閲覧室
年齢制限：なし（18歳未満の方は受付でお申し出ください）
入場料金：無料
開館時間：10：00-18：00（日曜・祝日は休館）
お問合せ：0774-98-1341（関西館資料案内 9：30-17：00）

命の星、地球。 生命が誕生してから40億年の時を経た今、多様な生き物が栄えるさまは、まさに百花繚乱といえます。身近にいる動物、絶滅してしまった動物、そして人の想像力が創り出した動物。我々人類は時代を越えて、常に彼らと共にありました。

第18回の関西館小展示では「古今東西いきもの絵巻ーいる、いない、もういないー」と題し、実在の動物から想像上の動物まで、多種多様な動物の姿をご紹介します。



表面イラスト(猫)：『面黒草紙：お伽文学』(右文社、1894年)
表面イラスト(その他)：『普通動物の観察』(松村三松堂、1908年)
裏面背景：『和漢三才図会、巻五』(内藤書屋、1890年)

国立国会図書館関西館

国立国会図書館関西館 第18回小展示

古今東西いきもの絵巻 —いる、いない、もういない—

2015年8月20日(木)～9月15日(火)

国立国会図書館関西館 地下1階総合閲覧室 10:00～18:00(日・祝除く)

第18回小展示では「古今東西いきもの絵巻—いる、いない、もういない—」と題して、実在の動物から想像上の動物まで、多種多様な姿をご紹介します。身近にいる動物、人の想像力が創り出した動物、そして絶滅してしまった動物。様々な姿をご堪能ください。

展示構成

第1章 —いる—

地球には実に様々な動物が暮らしています。身近には見ることのできない野生動物の姿や、ペットなどの動物と人との関係を、色鮮やかな図鑑を中心に紹介します。

第2章 —いない—

大昔から人間は豊かな想像力で動物の姿を思い描いてきました。動物が主人公として活躍する物語や、龍やキマイラのような空想の動物の魅力的な姿を紹介します。

第3章 —もういない—

地球の長い歴史の中には、確かに存在していたのに、今ではその姿を見ることができなくなった動物たちがいます。太古に栄華を誇った恐竜をはじめとして、人の手によって絶滅してしまった動物や、絶滅の危機に瀕している動物を紹介します。

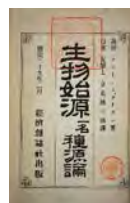
展示資料の紹介



『昆虫記』(叢文閣、1922-1926)
フランスの昆虫学者アンリ・ファーブルの代表作。展示資料は大正11年(1922年)から大正15年(1926年)に刊行された邦訳書で、第1巻については大杉栄が翻訳を担当しています。

『生物始源：一名種源論』
(経済雑誌社、1896)

現在では「種の起源」として知られている、イギリスの自然科学者チャールズ・ダーウィンによる進化の解説書。展示資料は明治29年(1896年)刊行の初邦訳書です。



『吾輩八猫デアル』
(大倉書店、1905-1907)

夏目漱石のデビュー作。展示資料は明治38年(1905年)から明治40年(1907年)に初めて刊行されたものです。

■ 交通のご案内 ■

電車でお越しの場合

- JR学研都市線祝園駅/近鉄京都線新祝園駅より奈良交通バス「36系統 祝園駅 光台循環」もしくは「56系統または59・58系統 学研奈良登美ヶ丘駅」に乗車、「国立国会図書館」下車(乗車時間10分程度)
- 近鉄けいはんな線学研奈良登美ヶ丘駅より奈良交通バス「56系統または59系統 祝園駅」に乗車「国立国会図書館」下車(乗車時間15分程度)

お車でのお越しの場合

- 京都から：京都→城陽I.C.(京奈和自動車道)→精華学研I.C.→西へ
- 大阪から：国道163号→府道52号(奈良精華線)を北へ
- 奈良から：国道24号→国道163号→府道52号(奈良精華線)を北へ

※駐車場・駐輪場は午前9時半から午後6時までご利用いただけます

〒619-0287 京都府相楽郡精華町精華台8-1-3
0774-98-1341 (関西館資料案内 9:30-17:00)
<http://www.ndl.go.jp/jp/service/kansai/>

